



## 板橋区立保育園の子どもたちと

## 直感が飛び交った自然遊び

木の音を聞いて

「ドーっという音」「風の音がした。」「水が流れている音がした。」「コツコツという音がした。」「ドコドコっという音がした。」「ゲーっという音がした。」「モクモクっという音がした。」

みんな感じ方が独創的で個性的、すごい!



生き生きとした表情で「コウモリトガ」のゲームをするくみ保育園5歳児

これまで、5年以上にわたり、環境教育・学習を公立小中、大学とすすめてきたSOE。この中で環境体験は、感性のやわらかい小学校低学年はもとより、幼児の時代に、豊かな経験を積むことが、効果的であるという確信を得てきました。

そこで、5月からセンスオブアースは、板橋区内の保育園での、自然遊び（ネイチャーゲームなど）プログラムを実施し始めました。まずは3園で、主に、4～5歳児の子どもたちを対象に行いました。実施したのは板橋区立小桜保育園・同みなみ保育園・同くるみ保育園です。（5/10、5/31、6/7）

## はなのにおい・葉っぱの感触

「レモンみたいな匂い」「いいにおい」  
「葉っぱがチクチクした」「どくだみがみかんのようにおいがした」「木の表面がむにやむにやした」「ざらざらした」「チクチクした」



赤塚公園のクスノキでアオムシを見つけ真剣な顔顔



プログラムは、全体で90分。構成は、始め、「コウモリトガ」という食物連鎖のやさしいオニゴッコゲーム、みんな、リラックスしたところで紙芝居「いもむしのたからぶくる」というセンスオブアース創作の童話を読み聞かせします。主人公はアオスジアゲハのいもむしです。

板橋鉄道公園で、保護者と「コウモリトガ」をするみなみ保育園4・5歳児

『おかあさんは美しい羽を自慢にして、自然豊かな板橋の空を飛びまわっていました。しかし、だんだん、自然がなくなり、みつも吸えず、きれいな湧水でもなくなり、草原や、大好きなクスノキも切られて、病気になってしまいます。お見舞いに来た子どものいもむしたちは、お母さんにどうしたら元気になれるか聞きます。～～そこで、いもむしたちは探検に出て、お母さんの願いのものを見つけて、もってかえり、たからぶくろを作りだします。』という中で、自然たんけんをしていく子どもたち。木の音を聞いたり、草や花の匂い手触りを感じ取ったり、鳥の鳴き声を聞いたり…。



いもむしのたからぶくろ 始まり始まり (赤塚公園)

どこの園長先生や担任の先生方も、子どもたちを感性豊かに育てようと、日常から、公園へせっせと連



見つけたたからを袋につめて (どうやってつめたか、参加して見てのお楽しみ) 左から、小桜保育園4・5歳児・南保育園4・5歳児



れ出して、いろいろな遊びをさせてこられているとのことで、移動もとても上手、体力も相当付いている子どもたちで、誰一人、疲れたとか、へたり込む子もいなくて驚きました。先生方は地域を丸ごと、子どものための育成環境にしているのです。



## 5歳児のこどもたちとネイチャーゲームに参加して…

板橋区立小桜保育園長 大沢 ゆかり

私が幼少時だった昭和40年代前半は、まだまだ自然を感じ生活することができました。木造だった家からは風で雨戸がガタガタ… ヒタ… 」と地面に雨からも気配として感じることろいろな体験は、今でも私の  
今回こどもたちと少しの時五感を研ぎ澄ました時を持つと思います。と同時に、今の



右から 大沢ゆかり園長先生・SOE寺田

たせてあげたいと思いました。その感性の芽をできるだけ伸ばす保育を私たち保育者は常に考えていきたいものです。

間でしたが自然に触れ、自分のことができて、本当に良かったこどもたちにもこんな時間を持つ “こどもたちはとても感性豊か”

なったり、雨が降っていると「ボ粒が落ちて奏でる音が、家の中

保護者も参加小桜保育園

## みなみ保育園実施後のふりかえり (職員) より

保護者会とのセットで、おとも体験の機会があったことは、とてもよかったと思います。プログラムの内容は幼児には少し、難しい所もありましたが、何よりも貴重な経験であったと思います。五感を働かせたり身近な自然に目を向けたり、今後もぜひ継続していきたい内容でした。





## SOE 学生スタッフの感想

私は、今回の保育園で、最も印象に残ったことがある。最後にみんなとても積極的に自分の感想を一生懸命発言しているのを見て、就職活動をする中で自分の思いや意見を人に伝えることがとても難しいと感じていた時でもあり、みんなの前で自分の意見を積極的に言う場を大人が作っていく大切さを感じた。それだけでなく、普段のちょっとした発言などにもっと耳を傾けてあげることで、感性をもっと伸ばして上げることができるのではないかと感じた。(日本女子大 4年桑原奈美)

## ヤゴ救出作戦、SOEメンバーがエコポリスセンターと協働

5月19日～6月9日

エコポリスセンターが中心になって、区内各小学校でのヤゴ救出作戦が展開されました。センスオブアース (SOE) メンバーも延べ11人8校に参加。



雨空を気にしながらも、こどもたちは元気にヤゴを助け出しました。意外に、赤とんぼ系 (アカネ系) と

シオカラ系が少なかったこと。周りの緑の環境の変化が関係している可能性があります。ヤンマ系は浮島を浮かべた学校ではたくさん取れるようです。植物の莖に卵を産むことや縄張りを持てるからのようです。



向原小 3年生。  
「校長先生たくさん取れたよ」



### 《子どもたちの生リアクション》 志六小 ヤンマ系ヤゴがたくさん

- ・わ、いたいた2ひきもとれたよ!
- ・あれ、すぐ葉っぱのかげに かくれた。
- ・気持ち悪い、さわれない。→かみつかれないから平気だよ、ほら。→とってもらった
- ・赤いミミズのようなものがいた。なんだろう。→赤虫と言ってやごの餌になるよ。
- ・ヤゴの抜け殻があったよ。→ヤゴは脱皮して大きくなるんだね。
- ・ヤンマ系が多くてアカネ系が少ないのはどうしてかな (スタッフ) →きっと、ヤンマ系に食べられたんじゃないの。(なぜか、はっきりしないので、今後調べていく)
- ・教室で飼いたいな～。トンボになるところをみたいな。
- ・シオカラトンボのメスは、麦わらトンボって言うんだよ。・よく勉強しているね。

# NHK「エコパーク」環境イベントに出店 6月4・5日

今年で5年目、NHKのセイブザフューチャー、名称をエコパークに変えて開催の環境イベントに、NPOとして3回目の参加をしてきました。今年のテーマは「エコライフ」。学生の出店が多く19団体、エコライフにこだわらず環境のことなら、OK。そこで、今回は、自然の種の飛び方をクラフトにしてその生態を手作りで学びながら遊ぶことにしました。担当は、伊藤宗彦さん。事務局の要です。種は、



自分の仲間を増やすために様々な工夫をして種を飛ばしますが、樹木では、遠くに飛ばすために風を利用し、クルクル風に乗るような形に自らを改良して飛んでいきます。ケヤキの種は葉の付け根について、大きく回りながら、周囲に飛んでいきます。葉に種を載せるようにして飛ぶアルソミトラ。クルクル、はねつきの羽のような形になって飛ぶラワン。うるしの種は軽いベールのような薄皮を斜めにねじる形になって、回転力をつけて飛んでいきます。全て、折り紙とシール・ボンドだけで作り、多くの来場者に紹介することができました。二日間で、全体で1万6千人程の方が訪れたようです。地震・津波に加え、放射能による史上最大の環境汚染が現在進行形で進む日本！ この取組ももっともっと市民に必要とされ、みんなでつくる企画になることが求められます。SOEも微力ですが、地に足のついた実践力・影響力ある活動を提案していきます。

大きく回りながら、周囲に飛んでいきます。葉に種を載せるようにして飛ぶアルソミトラ。クルクル、はねつきの羽のような形になって飛ぶラワン。うるしの種は軽いベールのような薄皮を斜めにねじる形になって、回転力をつけて飛んでいきます。全て、折り紙とシール・ボンドだけで作り、多くの来場者に紹介することができました。二日間で、全体で1万6千人程の方が訪れたようです。地震・津波に加え、放射能による史上最大の環境汚染が現在進行形で進む日本！ この取組ももっともっと市民に必要とされ、みんなでつくる企画になることが求められます。SOEも微力ですが、地に足のついた実践力・影響力ある活動を提案していきます。



に必要とされ、みんなでつくる企画になることが求められます。SOEも微力ですが、地に足のついた実践力・影響力ある活動を提案していきます。



## ● S.O.E. 活動報告 (2011年5月)

日	曜	内 容
8	日	SOE5月号 ニュース発行作業・ワークショップ
10	火	小桜保育園環境プログラム「目かくしいもむし」 年中・年長組実施
12	木	センスオブアース教職採用試験対策講座 第1回実施一会員対象
13	金	ヤゴ救出作戦出前授業説明会参加
14	土	同上参加 エコボリスセンターあり方懇談会参加
15	日	第8回SOE 総会開催 2010年活動・会計報告 承認11年方針決定

日	曜	内 容
19	木	SOE教員採用試験対策講座第2回 5/21 第3回対策講座 5/28 第4回対策講座
21	土	蓮根第二小芝刈り、ビオトープ育成活動参加
23	月	ヤゴ救出作戦向原小、19 同桜川小、 25 同若木小、30 同志村第四小、
30	月	エコポリあり方改善提案提出一板橋野鳥クラブ・ いたばし水と緑の会・センスオブアース共同提案
31	火	板橋区立みなみ保育園環境プログラムを 年中・年長組に実施

**発行** 特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp